

専門分野・基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	看護の展開方法 1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	黒川みゆき	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>看護は、対象となる人のニーズに応じたものである。対象にとって必要な援助を見きわめ、提供するための手段・方法論の1つである「看護過程」を学ぶ。看護過程を構成する要素とそのプロセス、看護過程を用いることの意義を理解する。これまでに学んだ、クリティカルシンキング、倫理的判断、リフレクションについての学びを基盤に、事例をもとに科学的根拠に基づいた看護を実践するための問題解決思考を身につける。また、看護記録の目的と意義を理解し、看護における観察・記録・報告の必要性を学ぶ。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程を構成する要素とそのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解する。 2. 事例をもとに、問題解決過程やクリティカルシンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方について学ぶ。 3. アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価、といった看護過程の各段階について、その基本的な考え方と実際を学ぶ。 4. 看護記録の目的と留意点、その構成について学ぶ。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 看護過程とは 1) 看護過程の基盤となる考え方 2) クリティカルシンキング 3) リフレクション 4) ヘンダーソンの看護論に基づく看護過程	講義	
2回目	1. アセスメント 1) 情報の意味を考える (1) 相手への関心と知識(2) 原因を探究する力 (3) 基準値との比較と知識の活用(4) 中範囲理論の活用	講義	
3回目	1. 全体像の把握 1) 関連図 2. 看護診断	講義	
4回目	1. 事例展開	講義	
5回目	1. 事例展開	演習	
6回目	1. 事例展開	グループワーク	
7回目	1. 事例展開	演習	
8回目	1. 看護計画 1) 期待される成果 2) 患者の個別性 3) 看護目標記述の原則 4) 看護目標の種類	講義	
9回目	1. 看護過程の実施 2. 看護過程の評価 3. 看護記録 4. SOAP	講義	
10回目	1. 計画に基づく援助	グループワーク	
11回目	1. 援助の実施 2. SOAP 3. 評価	演習	
12回目	1. 看護診断 1) NANDA-I	講義	
13回目	1. 発表会	発表会	
14回目	1. まとめ	講義	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 50% 課題提出 50% (事例展開)		
受講生に対するメッセージ	「看護概論」の復習をしてください。事例展開するためには、「解剖生理学」「病態治療論」「フィジカルアセスメント」の知識がベースに必要です。何度も復習・予習をして臨みましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護学技術 I 医学書院 ヘンダーソンの看護観に基づく看護過程 日総研		